## 山菜食べ放題・山行報告

【日 程】 5月11(土)~12日(日)前夜発 2日共 晴れ

【山 域】 下越

【ル - ト】 1日目—マンダロク山(亦六山) 別名 前日倉山(865.8m) 2日目—松平山(953.9m)

【 登山方法 】 ハイキング

【参加者】 CL. 柘植、大木(食担)、渡辺純、小俣、石井、薗田、杉山、鶴田 海保(先月入会)、下牧(今月入会)、小倉(元会員)、井上志(記録)

【コースタイム】 日倉山登山口 7:50-10:10 マンダロク山頂 10:40-登山口 魚止滝 7:50-9:10 山葵山 9:20-10:20 松平山 11:00-12:00 山葵山 12:15-13:20 魚止滝

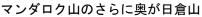
## 1日目:マンダロク山(下田川内山塊)



今年のお楽しみ山菜山行の1日目は新潟県東浦原郡阿賀町にあるマンダロク山です。

車3台で千葉を前夜21時頃出発し、山谷Pで仮眠して6:50巨木の里道の駅三川で集合した。天気は上々で元会員で山菜に詳しい小倉さんの笑顔に安心して豊作を期待する。登山口近くにタラノメをたくさん見つけた。7:50登山口にてリーダーより、5月入会で山行初参加の海保さん、下牧さんの紹介のあと、それぞれ体操をして歩き始める。







正面はマンダロク山手前のピーク

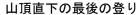
最初から中々の急登ですぐに暑くなる。衣服調整をしてさらに細い尾根道を陽ざしを浴びながら登る。 うつむくとイワカガミがかわいいが、目指すはコシアブラで上をきょろきょろみながら小倉名人の指示により、 せっせと採る。中々自分ではみつけられない、年に1度では見分けるのは難しい。



周辺の木の丈が低くなり暑い









山頂記念写真

頂上近くは雪が残っていたが、アイゼンを着けることもなく過ぎて、10 時過ぎにマンダロク山に着いた。日陰が欲しいほどの上天気。しばらく休憩すると、地元の登山者が登ってきたので我々は下山開始する。坂が厳しく手も使いながら気をつけて下りた。コシアブラ、ヤマウド、ネマガリタケ、アケビの芽、タラノメなど種類も豊かに採ることができた。駐車したところに蕨が生えていて、たちまち皆目の色が変わり採取したらそこは栗林でイガがいっぱい落ちていて手痛い目に遭った。



下山はまた違った風景を楽しめる



馬下保養センターでの宴会風景

宿泊は五泉市馬下(まおろし)保養センターで、早く着いたのでゆっくり温泉に入ることができた。

部屋は3部屋で12人には十分で、ゆっくり夕食の準備にかかる。まずはコシアブラの天ぷらで乾杯して、台所から次々サイドメニューがたっぷりでてくるのはちば山ならではか?先ほど痛い思いをして採った蕨も卓上で微笑んでいる。アケビの芽を生卵ソースで食べるのは初めてで興味深い。山菜が採れない時もあるそうなので、今回はラッキーであった。

## 2日目:松平山(五頭山塊)



翌朝も晴れで馬下保養センターを6時半に出発して、五頭山塊の松平山(まつだいらやま)に向かった。 魚止滝近くに車を停め登山道に入るとすぐに丸太橋を渡り、新緑によく似合うきれいな滝を見ることができた。 しばらくして急登となり山葵山に着いて休憩となり助かった。尾根道にはイワカガミ、雪椿、カタクリなど目 を楽しませてくれた。



登山口で記念写真



イワカガミとカタクリの群落



山葵山で休憩(背後は五頭山本峰方面)



山頂近くの雪斜面をトラバース

雪も残っていてザクザク気をつけて歩くと頂上に着いた。霞んでいたが遠く佐渡までみえた。雪を頂いた飯豊 の山並みも見えしばし、景色を楽しんだ。こういうところで食べる残りの山菜のおかずもまたおいしい。







中景は五頭山本峰、遠景は菱ヶ岳

松平山は昨年のGWに親子が帰路道迷いで遭難し、3週間後に沢筋で遺体で見つかった山だ。山頂標識の横に は涸れた花束が、また近くには燃え尽きた線香が備えてあったのは、一周忌の慰霊登山者のものだろうか?



雪椿・・・尾根筋にたくさん咲いていた



無事登山口の大荒川本流魚留滝に戻る

下山は来た道を戻り山葵山に寄って魚止滝へ戻った。

近くの村杉温泉薬師の湯で汗を流し、ここで解散して順調に帰葉した。

慣れたリーダーと食担と山菜名人のおかげで1泊2食付き格安にて充実の楽しい山行でした。 参加の皆様もありがとうございました。

山行報告: 井上 志津子